

第2回鶴岡市障害者施策推進協議会

会議録

日時	平成26年12月15日(月) 10:30~12:30
場所	鶴岡市総合福祉センター にこふる 大会議室
出席者	別紙のとおり
記録者	福祉課障害福祉係

1. 開会 司会進行：福祉課参事

2. 会長挨拶 櫻井好和会長

3. 協議 司会進行：櫻井好和会長

(1) アンケート調査について

・「アンケート調査」の結果について、別紙資料により事務局より説明を行う。

《質疑・意見》 なし

(2) 第4期障害者福祉計画の骨子と草案について

・「第4期障害者福祉計画の骨子と草案について」別紙資料により事務局より説明を行う。

《質疑・意見》

委員：「第7章障害児支援体制の構築」のところで「バックアップする後方支援としての位置づけ」とあるが、「バックアップ」とすると消極的な支援に聞こえるので、他の子育て支援と同じように並列にして積極的な支援の形にしたほうがいいのではないかと。

事務局→障害児支援については、平成24年度から障害者自立支援法から児童福祉法に法律が変わっているので、障害福祉計画ではなく子育ての計画のほうで推進していくほうが良いと考えている。これまで障害児施設で培ってきたノウハウを保育所等に広めていきたいと考えている。

委員：児童発達支援の人材育成、専門職の確保も含めて、保育所等訪問支援事業をぜひやってほしい。また、発達障害に対しての人材育成、体制も強化する方向で書いてほしい。

事務局→保育所等訪問支援はすでに、子ども家庭支援センターで行っている。発達障害も含めて今後の方向性を示していきたい。

委員：会議資料が届くのが遅い気がする。もう少し早く資料を送付していただきたい。サービス提供事業所が狭く、利用者が詰め込まれている感じがするので、将来的

に改善の方向で考えるべきではないか。また、鶴岡の学齢期前の障害児支援のリーダーはあおば学園だと思っているが、やむを得ず保育園に通っている子供もいるのではないか。あおば学園だけでいいのか。

事務局→あおば学園では児童発達支援と相談支援を行っているが、放課後等デイサービスの事業所は増えてきている。子育て分野と相談して進めていきたい。

施設基準については県に設置基準はあるが、ゆるくなってきている。良質な環境を作るため、県などに働きかけていきたい。

委員：アンケートを見ると、収入を得る仕事はしたいと思う人は多いが、職業訓練を受けたいという人は少ない。これをどう考えるのか。また、職場の上司、同僚に障害を理解してほしい、という人も多い。企業側から障害者に対しての理解を深めてもらうにはどうすべきか。行政としてどのように支援していくのか。

委員：雇う立場からすれば、職業訓練よりもあいさつ、生活態度等を見る。障害者一人ひとりの仕事の能力を見ていかなければならない。

委員：障害者にとっての「できる状況」をいかに企業が考えてくれるか、作ってくれるかということが大事だと思う。

委員：企業側に対して、一律に障害に対して理解を求めるのは難しい面もあると思う。障害者の個性と企業の組み合わせがうまくいけば長続きするということもあるし、一概には言えない部分もある。

事務局→就労支援については一般就労か福祉的就労かによって異なる。福祉サービスとしては、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援がある。このサービスをまず本人、家族に理解してもらうように努めていきたい。障害への理解については、さまざまな機会を通して理解を深めてもらうようにしたい。就労したいがコミュニケーションがうまくとれなくて就労できない、というような現実もあると認識している。

委員：アンケートからでてきた課題については、既存の団体、事業所等のネットワークの中でうまく情報を流すような仕組みを作れば大部分が解決できるのではないかと思う。

4. その他

今後のスケジュールの確認

以上

鶴岡市障害者施策推進協議会委員名簿（平成26・27年度）

	所 属	職 名 等	氏名	出欠
第1号 学識 経験者	東北公益文科大学	准教授	澤 邊 みさ子	欠
	(社) 鶴岡地区医師会	おのこども診療所	小 野 俊 孝	欠
	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会	事務局長	菅 原 淳	出
	鶴岡市民生児童委員協議会連合会	会 長	竹 内 峰 子	欠
	元 NPO 法人庄内アインシュタインの会	理事長	宅 井 き く	出
	知的障害者相談員	相談員	神 保 康 子	欠
第2号 関 係 行 政 機 関	県立鶴岡病院	院 長	神 田 秀 人	代理 出席
	総合療育訓練センター庄内支所	次 長	鈴 木 哲	出
	県立鶴岡養護学校	校 長	土 門 明	出
	県立鶴岡高等養護学校	校 長	山 下 敦	欠
	鶴岡公共職業安定所	統括職業指導官	五十嵐 均	出
	庄内総合支庁地域保健福祉課	課長	高 橋 博 美	代理 出席
	庄内児童相談所	相談判定専門員	佐 藤 真 司	代理 出席
第3号 障 害 者	鶴岡市身体障害者福祉団体連合会	会 長	佐 藤 満 子	出
	鶴岡手をつなぐ親の会	会 長	橋 本 廣 美	欠
	温海手をつなぐ育成会	会 長	佐々木 秀雄	出
	障害福祉サービス利用者	すまいるらんど	金 子 大 介	欠
	障害福祉サービス利用者	やまびこ	若 松 寿 夫	出

第 4 号 関 係 事 業 者	社会福祉法人 恵泉会	理事長	櫻井 好和	出
	鶴岡地区障害者通所施設協議会	会 長	高橋 一夫	出
	障害者支援施設 鶴峰園	園 長	高橋 栄一	出
	障がい者地域生活支援センター「翔」	所 長	齋藤 昌子	出
	社会福祉法人 月山福祉会	理事長	石川 一郎	出